

**2025年3月期
第2四半期
決算補足説明資料
(連結)**

2024年10月29日

株式会社テセック

通期では売上3割減、営業利益8割減を予想

- ・ 受注低迷、出荷延期により、ハンドラ売上は半減
- ・ EV減速に伴う出荷延期により、テスト売上は1割減

期末配当金は前期と同額の70円を予想

- ・ 安定配当に向け、還元策(総還元性向35%)を転換

協業テストメーカーの株式取得に基本合意

業績推移 (半期)

- ・ 売上はテストは2割増の一方、ハンドラは7割減となり営業利益率6.2%に低下
- ・ 外貨建て資産に係る為替差損0.4億円を計上 (FY23上期は為替差益2.5億円)

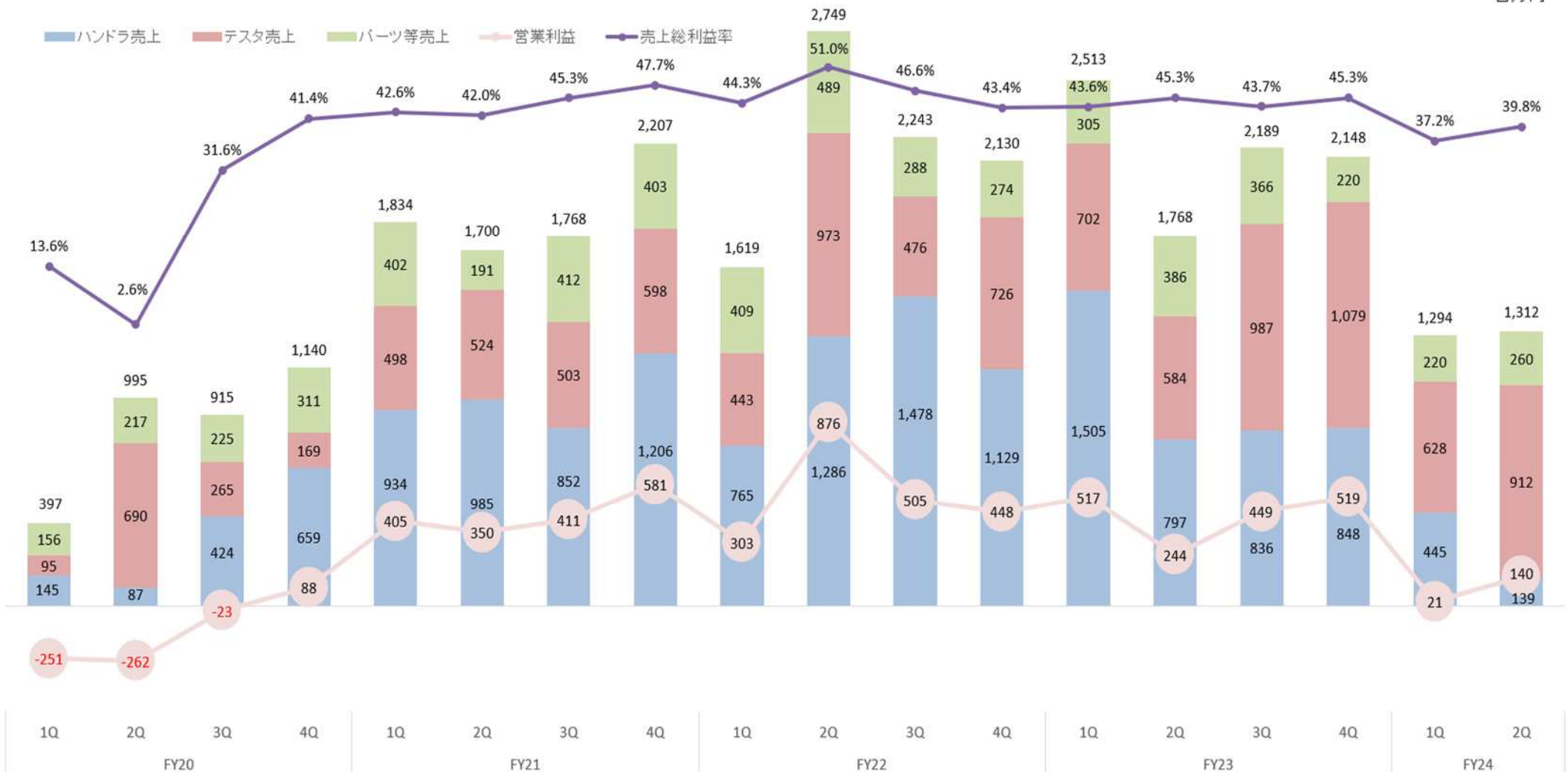
百万円	FY23		FY24	前年同期比		前の期比	
	上期	下期	上期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	4,282	4,337	2,607	▲1,674	▲39.1%	▲1,730	▲39.9%
ハンドラ	2,303	1,684	584	▲1,718	▲74.6%	▲1,099	▲65.3%
テスト	1,286	2,066	1,541	255	19.8%	▲525	▲25.4%
パーツ等	692	586	481	▲211	▲30.5%	▲105	▲18.0%
営業利益	762	968	162	▲600	▲78.7%	▲806	▲83.2%
営業利益率	17.8%	22.3%	6.2%	-	-	-	-
経常利益	1,072	1,065	169	▲902	▲84.2%	▲895	▲84.1%
当期純利益	757	757	129	▲628	▲82.9%	▲628	▲83.0%
米ドル為替レート(円)	135.9	147.5	149.6	-	-	-	-
受注高	4,396	2,496	1,943	▲2,453	▲55.8%	▲552	▲22.2%
受注残	6,156	4,315	3,650	▲2,506	▲40.7%	▲664	▲15.4%

業績推移 (四半期)

- ・ ボラティリティの高いハンドラ分野が下降局面に入り、売上は4年ぶりの低水準
- ・ 売上減少に伴い、売上総利益率、営業利益水準も低下

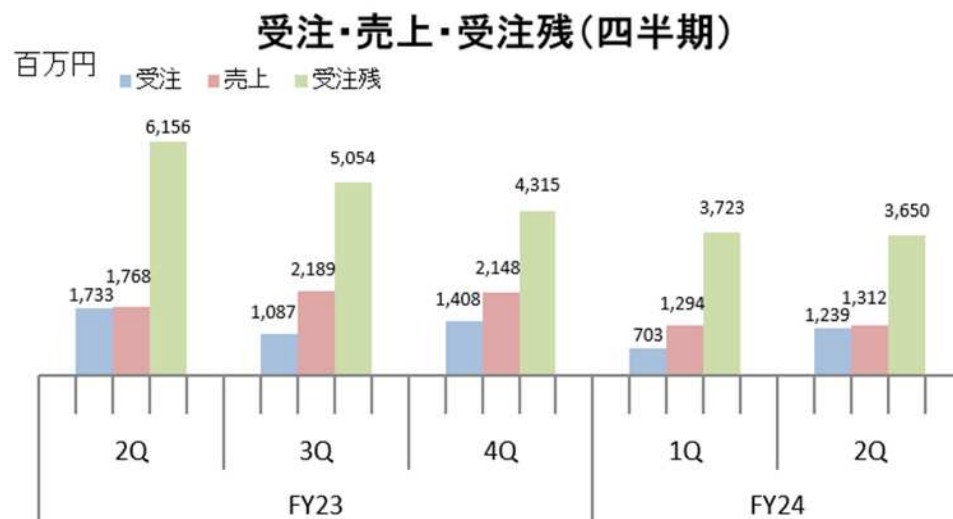
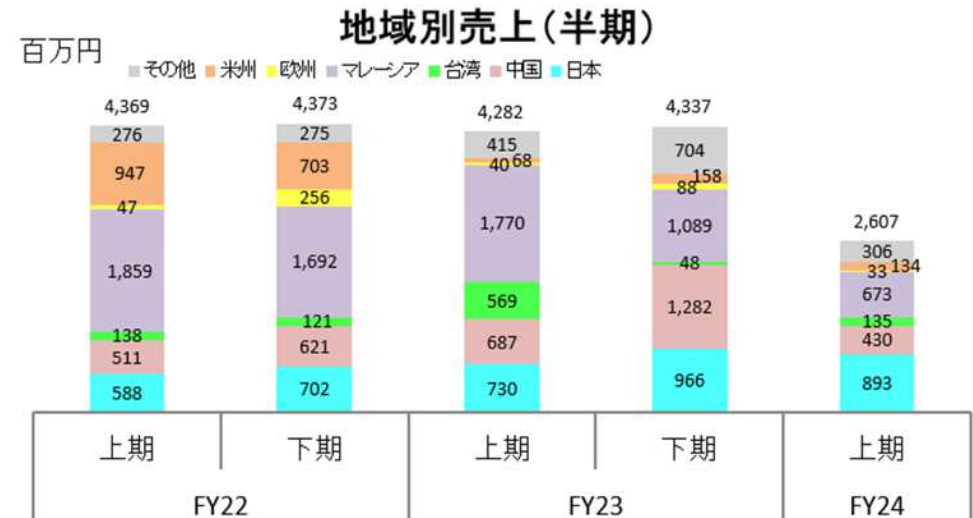
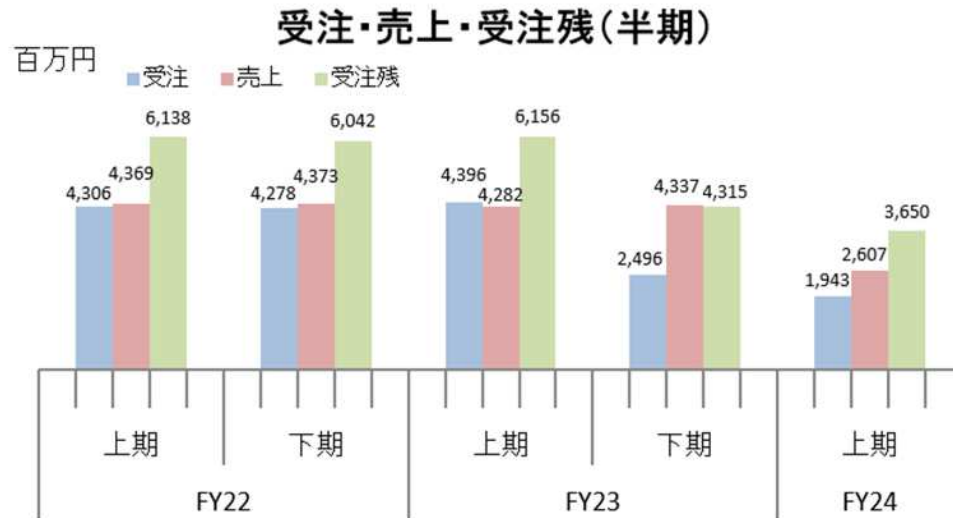
売上・売上総利益率・営業利益 (四半期)

百万円



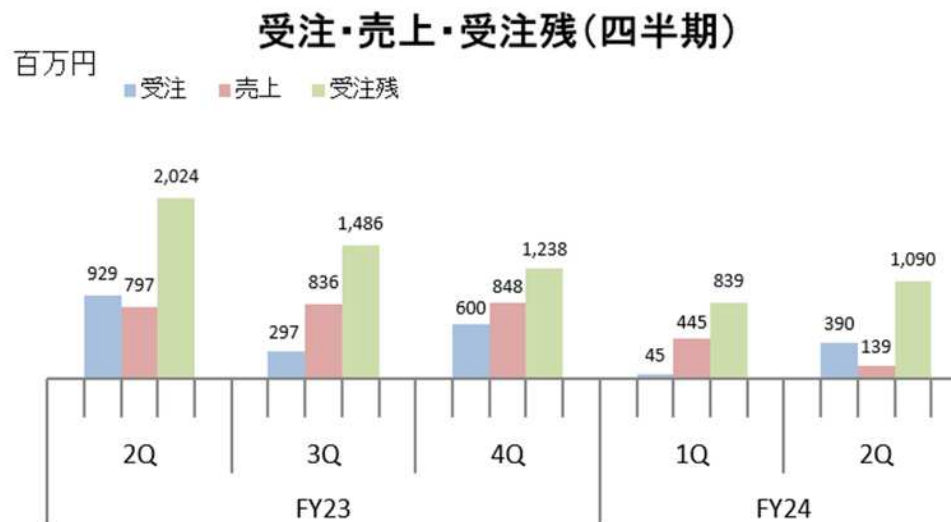
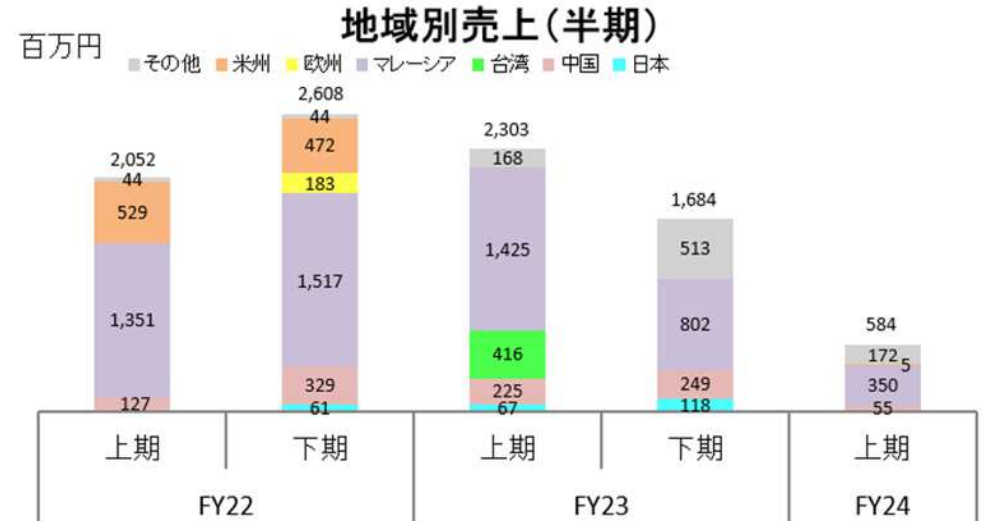
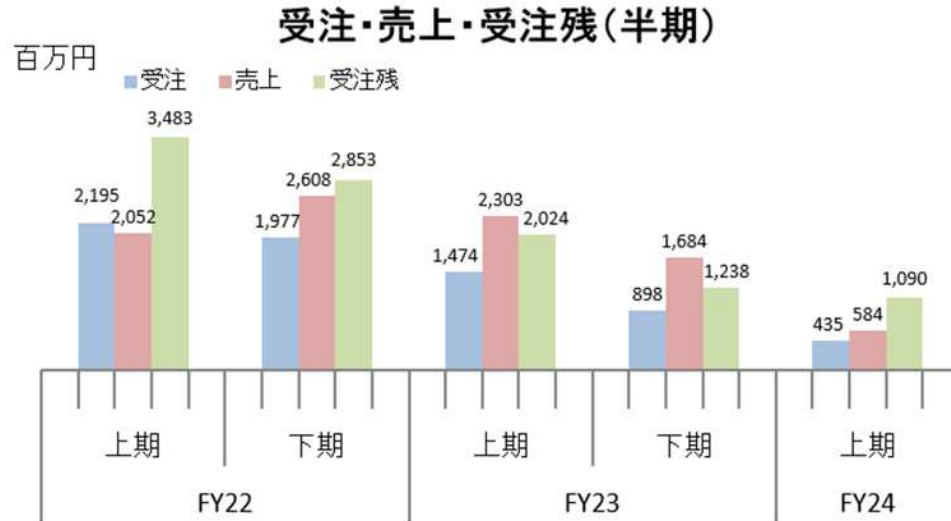
受注高・売上高・受注残高

- ・ 受注と受注残はFY23下期から、売上はFY24から大きく減少
- ・ 受注獲得に向け、製品デモ、国内外の展示会参加やトップセールスを積極化



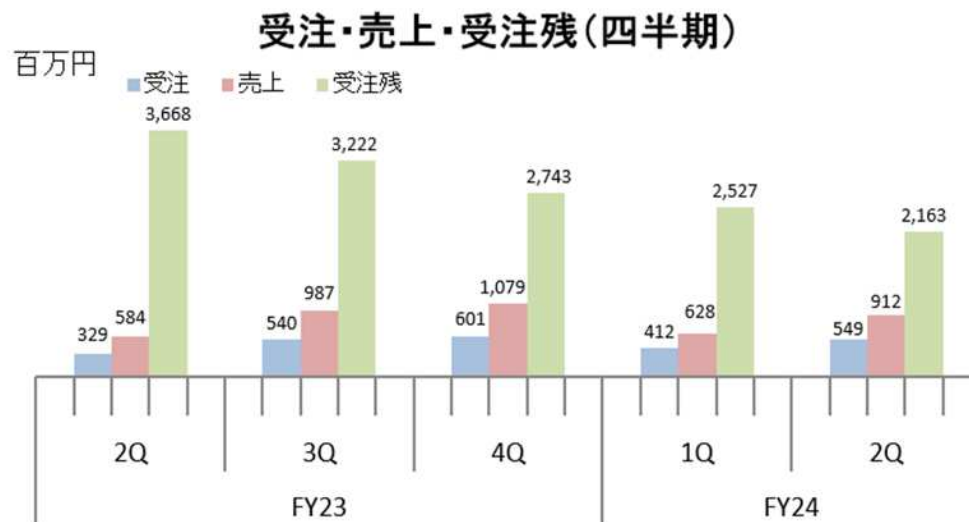
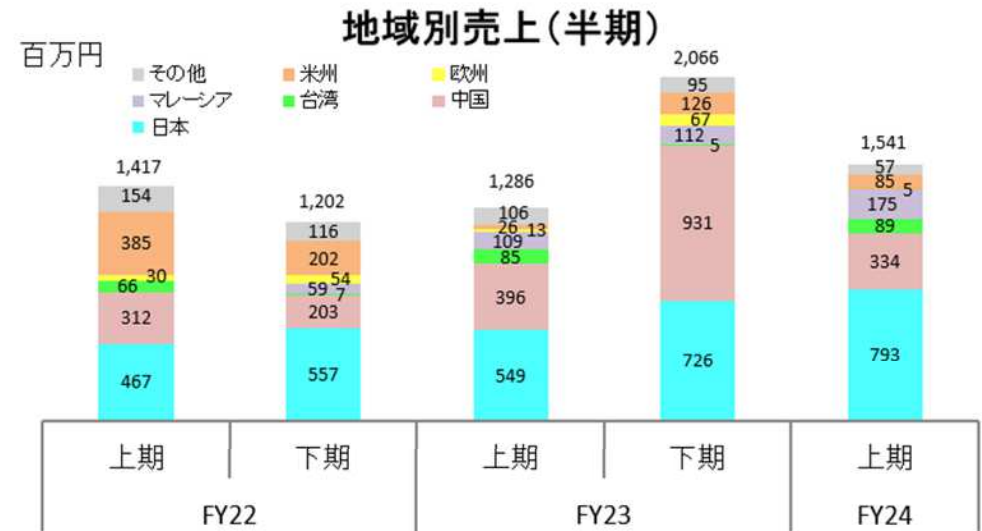
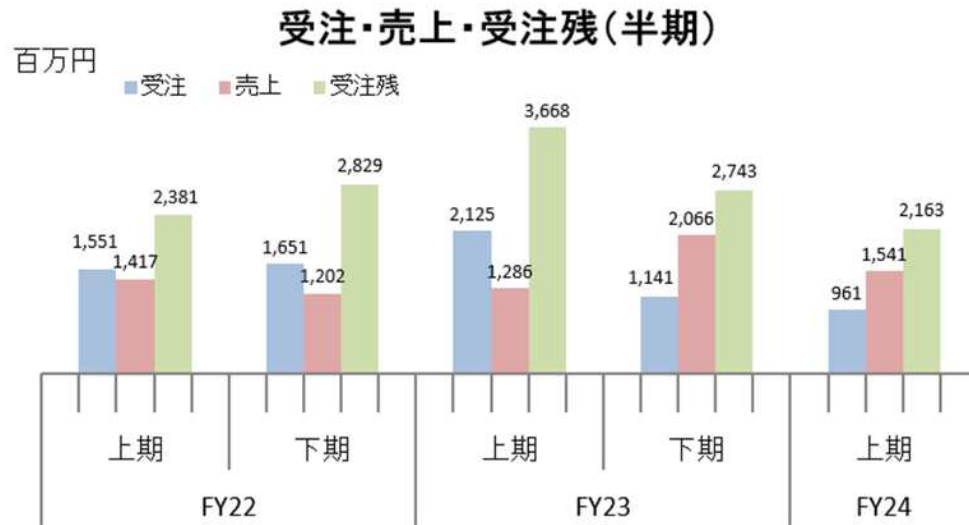
受注高・売上高・受注残高 (ハンドラ)

- ・ 大手海外半導体メーカーの投資が減速し、受注低迷が継続
- ・ 主要顧客からの引合が出始める一方、出荷延期要請もあり、まだら模様



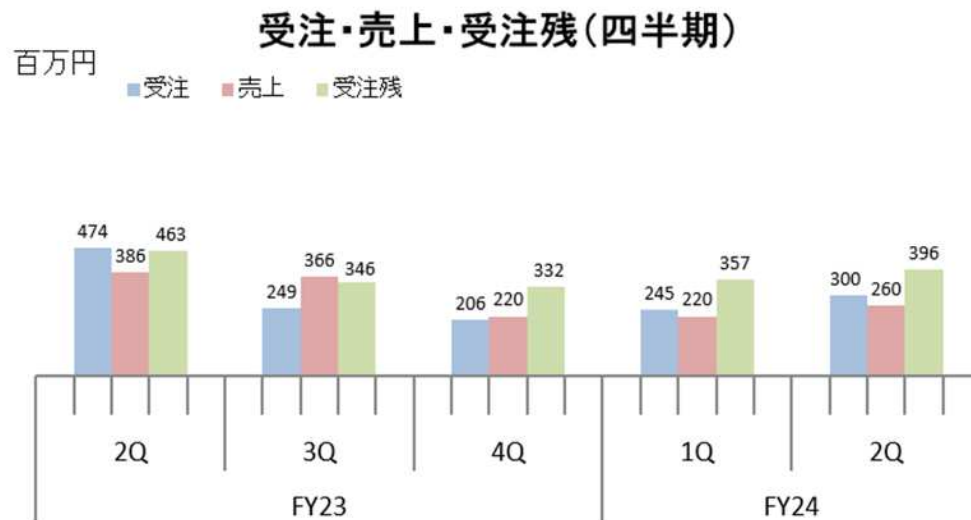
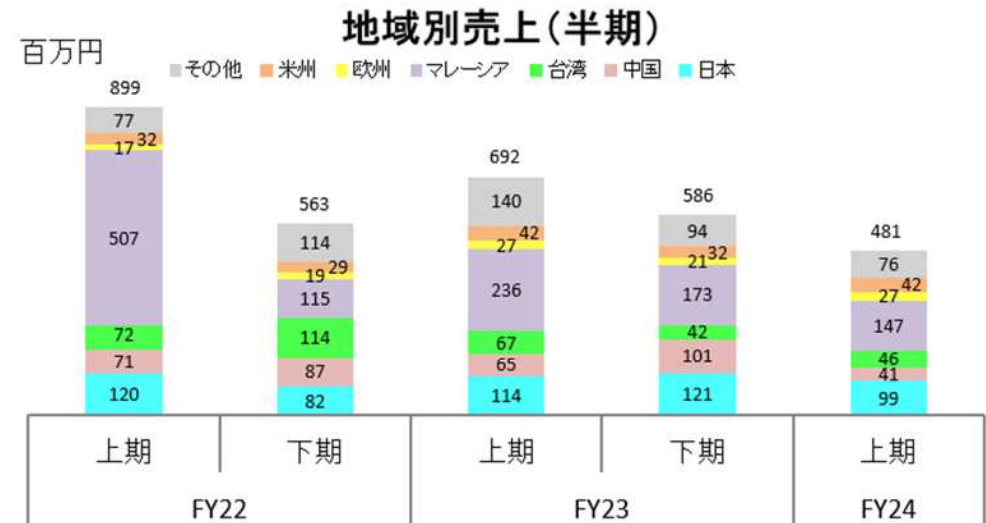
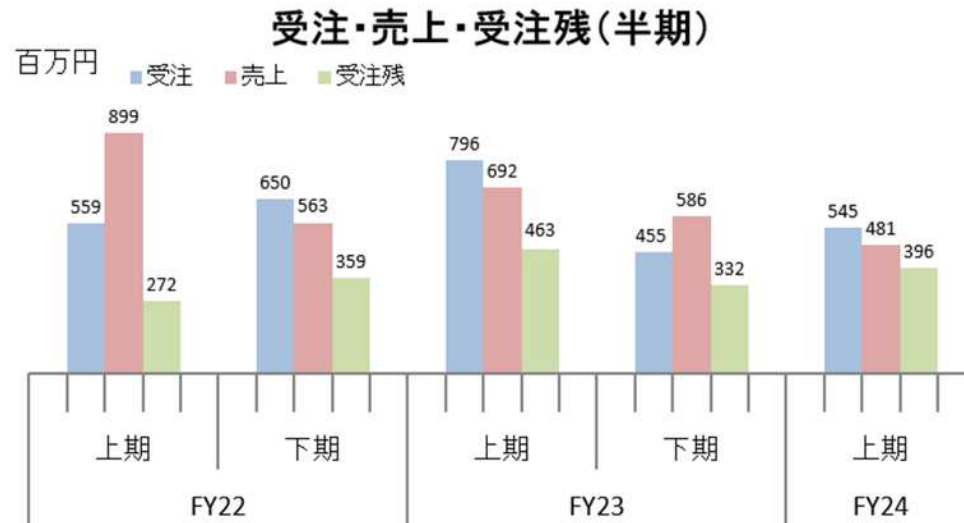
受注高・売上高・受注残高 (テスト)

- ・ EV減速の影響からパワー半導体関連にも減速感。出荷延期要請も発生
- ・ ソリューション強化に向け、協業テストメーカーの取得、製品開発を推進



受注高・売上高・受注残高 (パーツ等)

- ・ 高単価のハンドラ改造用チェンジキットの多寡により受注、売上が変動
- ・ 海外サービス体制強化に向け、代理店エンジニアへのトレーニングを実施



パーツ等には、以下の内容を含みます。

< 保守部品の販売 >

- ・ ハンドラ関連 ... チェンジキット、測子等の消耗部品
- ・ テスタ関連 ... リレー、オペアンプ、トランジスタ等

< サービスの提供 >

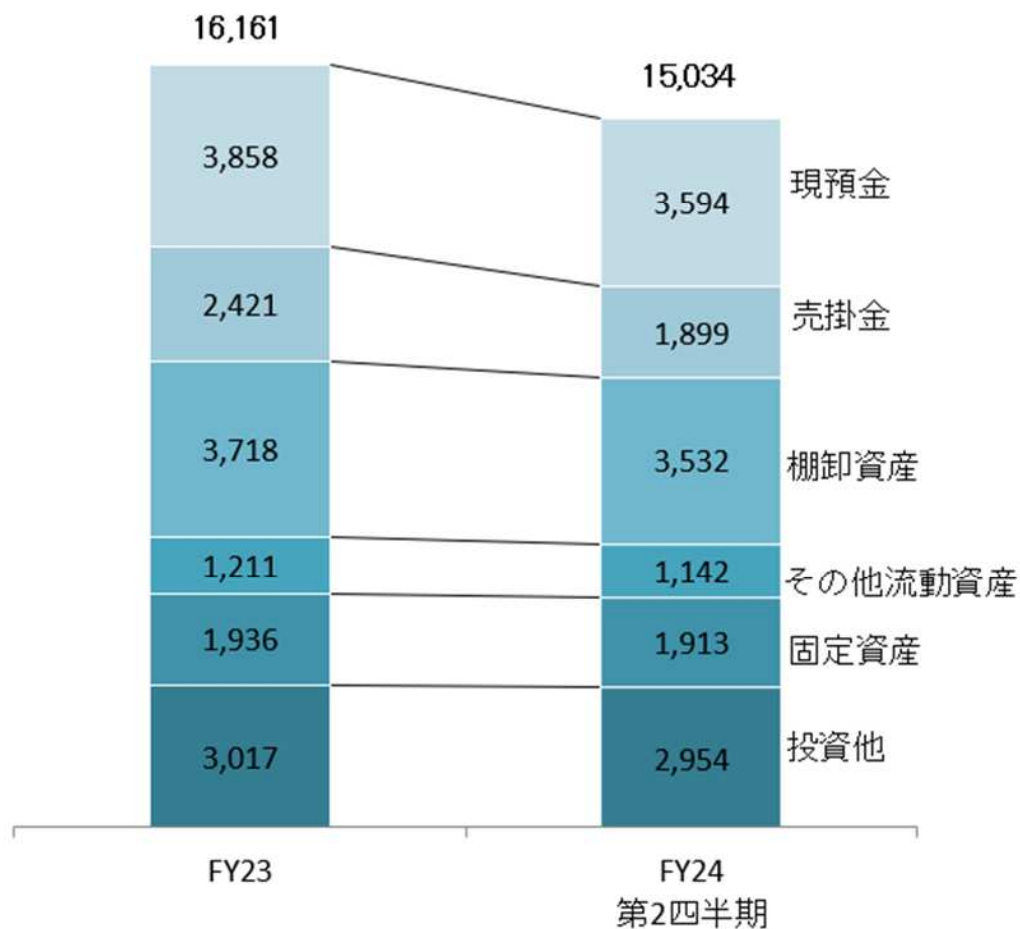
- ・ オーバーホール ... リレー等、消耗部品の定期交換
- ・ テスタ校正 ... ISO9001準拠の校正作業、証明書の発行

貸借対照表

- ・ 受注残の減少に伴い棚卸資産が減少。売上の減少に伴い売掛金が減少
- ・ 一方で、顧客からの短納期要請に備え、計画生産による在庫投資を実施

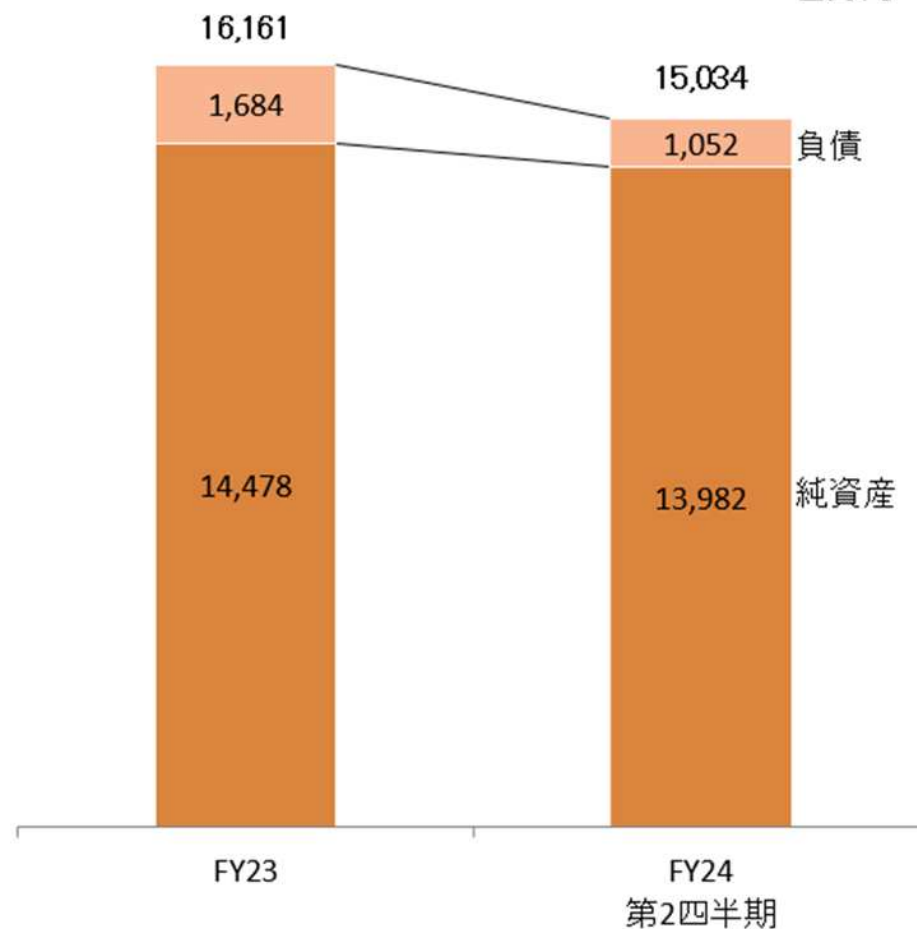
資産

百万円



負債純資産

百万円



業績予想

- ・ AI関連以外は需要低迷。期初想定(ハンドラ受注の年内回復)が完全に崩壊
- ・ 売上34%減、営業利益78%減を予想。 配当は前期と同額の70円を維持

百万円	FY23	FY24予		前期実績比		期初予想比	
	実績	期初予想	修正予想	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	8,619	8,200	5,700	▲2,919	▲33.9%	▲2,500	▲30.5%
ハンドラ	3,987	3,700	1,800	▲2,187	▲54.9%	▲1,900	▲51.4%
テスト	3,353	3,400	3,000	▲353	▲10.5%	▲400	▲11.8%
パーツ等	1,279	1,100	900	▲379	▲29.6%	▲200	▲18.2%
営業利益	1,731	1,440	380	▲1,351	▲78.0%	▲1,060	▲73.6%
営業利益率	20.1%	17.6%	6.7%	-	-	-	-
経常利益	2,137	1,580	480	▲1,657	▲77.5%	▲1,100	▲69.6%
当期純利益	1,515	1,080	340	▲1,175	▲77.6%	▲740	▲68.5%
米ドル為替レート(円)	140.7	145.0	上期 149.6 下期 145.0	下期為替感応度 1円安で営業増益10百万円			
1株当たり配当金(円)	70.00	未定	70.00	総還元性向35%の株主還元策を転換			

< 基本方針 >

業績推移等を総合的に勘案しつつ、安定的な配当を継続

< FY22 ~ FY24 中期計画 >

事業環境の継続を前提として、総還元性向35%を目安に株主還元
(FY22期初時点で保有の自社株は、M&AやRS等での活用を視野に、
当面は消却せずに保有)

事業環境が前提と大きく乖離するなか、より安定した配当を実施するため、
FY24については前期と同額の70円配当を維持
(自社株買いについては、引き続き機動的に実施)

< FY25 ~ 中期計画 > ... 策定中(2025年5月公表予定)

DOE(純資産配当率)を目安に、業績変動があっても安定的な株主還元を
実現する方針

ご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。